



こんにちは。ロニー・アレキサンダーです。「ポーポキ通信」が遅くなりましたことをお詫びします。報告すべきことはたくさんありますが、今回はその一部だけになります。お許してください。

『ポーポキ、平和ってなに色？ ポーポキのピース・ブック 1』

ポーポキ・ピース・プロジェクトのサポーターや YMCA のみなさまのお陰様でプロジェクトの方の本はどんどん少なくなってきました。一方、本屋の方はまだまだ余裕があります。みんなでポーポキちゃんの平和を広めましょう！

- ・ **最近の新聞報道**
- ・ **朝日新聞 (5.20)**
- ・ **毎日新聞 (5.24)**
- ・ **神戸新聞 (6.7)**
- ・ **中国新聞 (6.25 予定)**



神戸 YMCA ボランティア奨励賞

5.25 日に神戸 YMCA 総会でロニーが神戸 YMCA より 2006 年—2007 年ボランティア奨励賞を授賞されました。推薦文は次のとおりです。

「国際活動委員、またウエルネスセンター三宮のメンバーでもあるアレキサンダーさんは、2005年2月に亡くなった愛猫ポーポキの思い出に平和のイメージを重ねて、読み手の平和観に問いかける絵本を制作され、2005年末、岩波書店の DVD ブックの形で「ポーポキのピース・メッセージ」を、そして2007年5月に特望の紙製本『ポーポキ、平和ってなに色？』（エピック）を上梓されました。同時に、この2年間『ポーポキのピース・メッセージ』を元にワークショップを再三、神戸 YMCA で指導して下さって、平和のイメージを豊かにしてくださいました。絵本の発刊を機に、今後ますます神戸 YMCA のあちこちでポーポキに出会う機会が増えそうです。」(2007.5. 25神戸 YMCA 総会資料より)

神戸 YMCA 第5回(2007年度)国際ボランティア講座でポーポキ

安田良平 神戸 YMCA・余島ボランティアリーダー

5月19日に行われた、神戸 YMCA より国際ボランティア講座で、私は初めてポーポキと出会いました

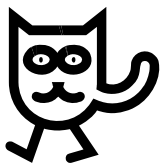
ポーポキは、自分の中に平和をもっています。平和といわれると、人間は、戦争のない世界など、どうしても「争い」の二文字がなくなる事を頭に描いてしまいます。

でも、ポーポキの平和はそんなことじゃありません。自分にとって、居心地が良い世界を、平和と呼んでいます。

ポーポキの平和は、もしかしたら、もっともっと自分を大切にしようというメッセージだと、私は感じました。

時間という形のないものに追われ、周囲を気にし、自分自身のことをないがしろにしている。そんな時代だからこそ、もっと自分たちを振り返るチャンスを、ポーポキは教えてくれた。

ポーポキが、たくさんの人たちの心のなかに残りますように。



「平和がええねん！！地球市民まつり」に参加して

さなだ やすひろ (アレキサンダーゼミ生)

「平和がええねん！！地球市民祭り」は毎年東灘区の住吉公園で開催されているとのことで、今年で12回目になるそうだ。今年の「地球市民まつり」にはポーポキが出展することになり、私もお手伝いにと参加した。

5月27日(日)の午前10時、アレキサンダー先生、神戸 YMCA の皆さんと JR 住吉駅に集合、歩いて住吉公園に移動する。ほどなく公園に着くと、もうすでに沢山の人が各々のテントの中で準備に余念がない。早速私達も準備を開始、本を並べ、テントを飾り、展示用ボードにもポーポキを飾り付ける。海に近いせいか浜風もやや強く、緩くとめただけだとポーポキが風と一緒に遊びに行ってしまうそうだ。

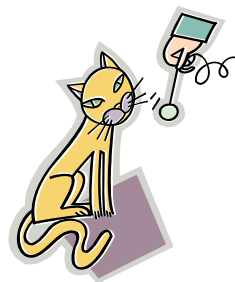
お祭りは11時スタート。ステージでは出し物も始まり、俄然賑やかになってくる。それにしても今日は空が真っ青のやたらにいい天気で、しかも5月末とは思えないほどの日差しだ。気温もぐんぐん上がってくる。



ポーポキのステージ上演お昼過ぎから。平和の色や匂いやかたちについて、観客の人達を引き込んでのパフォーマンスだ。YMCAの皆さんはさすがに場慣れしているというか、ポーポキの世界をあっという間にステージにつくりだしてしまう。私は写真係となってそんなポーポキの空間をカメラのフレームに切り取ってゆく。

パフォーマンスが終わると再びテントのブースを通じてポーポキの絵本の紹介だ。お祭りにやって来た子どもさんたちも、ブースの前で立ち止まってポーポキを眺めていたり、いろんな人が入れ代わり立ちかわり、ポーポキの前にやって来て、ポーポキを手にとって行く。アレキサンダー先生も、ポーポキを手にとってくれた人とポーポキの話や本のサインに結構忙しい。ポーポキを中心に、5月の晴れた空の下、とても平和な空間がそこにできていたようだ。そんなこんなでお祭りが3時過ぎまで。

ポーポキの本は、飛ぶようにみんなの手に渡っていった、というのは少し言いすぎかも知れないけれど、当初思っていた以上にかなりの大健闘だったことは間違いないだろう。今日のお祭りを通じてポーポキがより多くの人たちの心の中で、跳ね回るようになったことだけはきっと確かだ。



平和の絵本ワークショップ 2007.5.31 神戸 YMCA English Space

神戸 YMCA でポーポキのワークショップを英語でしてみました。テーマは「食べもの」でポーポキと一緒に食べる「Peace dinner」を計画するワークを入れておきました。当日はアンケートをとりましたので、その報告を掲載します。少し長いですが、ご参考になれば嬉しいです。

“平和の絵本ワークショップ”報告書

MIにゃん

日時:2007年5月31日(木) 19:00~20:00

場所:神戸YMCA4F「English Space Free Zone」

講師:ロニー・アレキサンダー氏(神戸YMCA国際活動委員、神戸大学大学院教授)

内容:ロニー・アレキサンダー氏の著書“ポーポキ、平和って、何色”に基づいたワークショップ

参加者:24名 (男女比 9:15)



アンケート結果に基づく講評:

<参加者の英会話レベル>

初めて23%、初級45%、中級23%、上級9%、第一言語0%

<日ごろの平和に対する関心度>

とてもある36%、ややある64%、あまりない0%、ほとんどない0%

Q、内容はいかがでしたか? 5(良い)— 1(悪い)

アベレージ: 4.5

コメント(理由):

- ・ 今まで食べ物を平和に結びつけて考えたことがなかったからためになった
- ・ 「食」が平和に関係がある、ということに気付くことができた



- ・ 本を使って、というテーマ設定が良かった
- ・ このような形だと難しくなく、考えやすい
- ・ 平和の色、味、においを今まで考えたことがなかったのでいい機会になった
- ・ ロニーさんの話がとてもおもしろかった
- ・ 日本語ではなく英語だったので刺激を受けた
- ・ ポーポキがかわいかった

Q、英語での講義をどの程度理解できましたか?

か?

アベレージ: 4.0

コメント:

- ・ ロニーさんの英語が聞き取りやすかった
- ・ 分かりやすく話していただいたので、問題なく理解できた。
- ・ スピードが速いときは聞き取れなかった
- ・ 日ごろ英語と接する機会がないので、よくわからなかった



↑ グループの作品

- ・ 語学力をもっとつけなければならない、と思った
- ・ 単語が分からなくても、なんとなく内容が理解できた

Q、講義の時間の長さ(1時間)は十分でしたか？

長い0%、ちょうどよい82%、短い18%

Q、今後このような英会話イベントがあったら参加してみたいですか？

YES 100%、NO 0%

コメント(理由):

- ・ 平和について学べて、さらに英語も学べるから
- ・ 絵を描いたり、楽しく考えることができるから
- ・ 英会話スクールに通う余裕がないので、このようなイベントはありがたい
- ・ 英会話を上達させたいから



その他コメント

- ・ 発表のときに英語でうまく説明できないところを日本語で言いたかった。十分に説明できなくて残念だった。

総評:

- ・ 平和について考えるだけでなく英語の勉強もできる、というプログラムができたことがよかった。また、英会話で平和を学べる、ということがYMCA独自の活動であり、一般的な英会話スクールとの差別化につながる。
- ・ 今回は、平和についてあまり考える機会がないので参加してよかった、という参加者が多かった。
- ・ 広報開始が遅くなってしまった。最低でも1ヶ月前までには終わらせておかなければならない。
- ・ 今後も継続してやっていくことが大切である。しかし、他の講師がやるにはまだまだ準



備と時間が必要なため、できれば数回はロニー氏に依頼をしたい。



NPO 法人 Knots(ノッツ) リぶ・らぶ・あにまるず賞 授賞式

KNOTS の HP に動物関係の情報が載っています。ぜひご覧ください。2007 年 Y2 Day with Dogs の報告も載る予定です。 <http://www.knots.or.jp/index.htm>

お知らせ～今後のポーポキが登場するイベントなど

- ・ 6.24 神戸栄光教会 子どもたちのための story telling hour 09:50～10:25。
- ・ 7.31-8.9 YMCA 青年ピースキャンプ (東ティモール)
- ・ 8.19-23 神戸 YMCA グローバル・キッズ・キャンプ (余島)
- ・ 8.31 神戸海星病院 ポーポキ・ピース・ワークショップ

私にとってのポーポキ

今回の「私にとってのポーポキ」は今、来日中のパーヴィン・ゴライシ教授にお願いしました。ポーポキのことと一緒に日本での異文化体験を書いてくださいました。英文で少し長いですが、ぜひお読みください。(ロニー)

Popoki Takes Me Around



Parvin Ghorayshi

University of Winnipeg

I came to Kobe University to teach a course in my area of interest on social justice, in English. Students speak English, they come from different parts of the world and I am very pleased with what I have been doing in this regard. However, with my non-existence of Japanese language, it was through Popoki that I could make some connections with the outside world in Japan.

As an academic whose world depends on reading, writing and discussion, I found myself unable to make sense of my everyday life without knowing Japanese. Of course, I did prepare myself in advance, and upon my arrival enrolled in a Japanese language course. I was also fortunate to have Ronni Alexander who helped me



before and after my arrival and continues to help me while I am here. It takes time to master the language at a level that one is able to connect to various levels of society. Popoki served as a bridge between me and the rest of the society, here in Japan.

Popoki does a lot of volunteer work; he is particularly active in the Kobe YMCA. Of course, YMCA values his work and supported Ronni's Popoki Project. Popoki gave me a window to get to know YMCA better. It was in YMCA that Popoki's book was launched.

I went to YMCA and joined a group of people to celebrate the publication of Popoki's book. We went to a Japanese restaurant. This occasion introduced me to new Japanese friends, some of whom spoke English. I had an opportunity to ask them questions and enter into discussion with them. I also loved Japanese food and its presentation. I got an idea about food, festivities and social life in Japan.

Popoki's book is simple and a joy to read. It is colorful, drawings are lovely and Popoki uses skillfully everyday common sense events to connect to kids and adults. Popoki is right. Peace exists in different interconnected layers, at micro and macro levels of our lives.



Popoki took me to the communities. We went to a park on Port Island for the NPO Knots YY Days with Dogs event, where Ronni received the "Live, Love Animals Award" from the sponsoring organization. This presented me to another layer of life in Japan. Popoki also joined a peace festival with many other community based groups who are working for a world that honors peace, diversity, and co-existence. There were music, dance, performance, food, and so on. Popoki attracted a lot of attention and sold his books. It was nice to see the smile on people's faces when they opened the book.

Popoki participated in an academic conference on Peace in Hiroshima. A group of Philosophers who are concerned about peace get together every two years and want to promote universal dialogue. As it is the case in academic conferences, the focus was on hard core concepts and there was not any talk on how to translate theories and concepts into action. Popoki's session was put on the last day of the conference. Popoki, the activist, took off with Ronni to connect with kids



and community people in Hiroshima. He read his book to the kids, showed the teachers how they can use the book in the classrooms. By the time Popoki came back for his session, most of his books were sold out. More importantly, Popoki

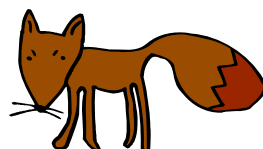


surprised the philosophers and philosophers surprised Popoki. Philosophers who participated in Popoki's session learnt how to relate their ideas to the real life issues. One person said that she will use Popoki's book in her graduate course in Philosophy. Another person said that Popoki gave her a tool to heal and overcome the personal

violence that she experienced as a child. Popoki's session was a success and he sold out all the books that he had with him. As for the next meeting of this group of philosophers that will be held in Beijing, the rumor is that there will be more session like the one Popoki had.

Popoki went and goes to other places that I unfortunately could not and cannot join him. He went to Tokyo, for another academic conference. He is scheduled to go overseas. He is being interviewed by the press, invited to give lectures to different groups, and Popoki organizes workshops for various groups of people. His book is being translated into many languages and gradually publishers from other countries are expressing interest in spreading Popoki's words.

Popoki continues to show me different layers of Japan. For this, I am grateful to Popoki and to Ronni who is the force behind Popoki. Everyday, Popoki makes new links and is becoming busier. This makes me, of course, happy, but a bit concerned for the amount of work that Ronni has been and will be doing.



ポーポキ平和基金について

ポーポキ平和基金はこれからも活動の資金のためにご協力を呼びかけ続ける予定ですが、本の作成のための資金集めは、3月31日をもって、打ち切らせていただきました。ありがとうございました！



さらにご協力ください！

ポーポキ・ピース・プロジェクトにご参加のみなさま(ポーポキ平和基金に一口以上を振り込んでいただいたみなさま)には、本がすでにお手元にとどいていると思います。

これからはピース・ワークショップ、ピースキャンプ、翻訳、『ポーポキのピース・ブック1』などの活動を中心に行なう予定です。ご協力、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。『ポーポキ、平和ってなに色？』についてのコメント、感想、追加注文などについては、popokipeace@yahoo.co.jpにお問い合わせください。

本についての問い合わせや注文はお近くの書店あるいはエピック
(TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918)へ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト popokipeace@yahoo.co.jp



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

口座名称 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一人口 1500 円。何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI !

popoki.cruisejapan.com
popokipeace@yahoo.co.jp